

Tweed, Roger G., Robert Biswas-Diener, and Darrin R. Lehman. "Self-perceived strengths among people who are homeless." *The journal of positive psychology* 7.6 (2012): 481-492.

この論文では、路上生活者であった人々に「あなたの強みは何か (could you tell me your strengths?)」と質問し、彼らが各々の自分の特徴についてどれだけ理解をしているか、他人への利他性を7つの質問を用いて考察しているものである。調査対象者は、カナダ・ブリティッシュコロンビア州・バンクーバーのシェルターにいる 116 名の過去に路上生活者であった人となっている。さらに、自己の特徴、強みを聞く際に「あなたの強みは何ですか?」と直接聞くだけでなく、「あなたは他の路上生活者と比べて何が違うか」など間接的にも聞き出すよう工夫が凝らされている。分析の結果、路上生活歴が長い人は、自己の強みについての報告が少ないことが明らかとなった。さらに、そのような人々は精神障害と診断されている人が多く、彼らのような人々には、彼らの強みや特徴を伝えることにより精神障害を軽減させ、路上生活者から脱却していく方法も効果的であることが示された。